

専門研修「高齢者地域支援」

【日 時】	令和2年10月1日（木）9：00～17：00
【会 場】	特別区職員研修所
【受講者数】	32名
【講 師】	<p>・NPO法人 KHJ全国ひきこもり家族会連合会 理事 ジャーナリスト 池上 正樹 氏</p> <p>・十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 教授 今井 伸 氏</p>
【研修内容】	<p><目的> 高齢者の地域支援に関する最新の専門知識や具体的な支援策を習得し、職務遂行能力の向上を図る。</p> <p><内容> ①8050問題を中心とした ひきこもり者とその家族支援（講義）</p>  <p>②特別区における高齢者施策のあり方 ～地域包括ケア・地域共生社会をふまえて～（講義）</p> <p>《講義の様子》</p>
【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャーナリストとしての視点から引きこもり者本人や家族支援のコツ等を分かりやすく説明していただき参考になりました。コロナ等現在の社会問題の中で対人援助をどのように行なっていくのか教えていただけてよかったです。 ・私たち周囲が考えていることと本人及び家族が求めていることにはギャップがあります。それをお互いが認識し、行動を変えていくことが大切であり、このあたりに行政としての施策づくりのヒントがあるように感じました。 ・元特別区職員という立場から特別区の抱える課題、そして目指すべき方向性について実にリアルなお話を聞かせていただきました。地域共生は高齢者だけでなく地域の中で課題を持つ人や生きづらさを抱えている人の問題を解決していく、という視点の大切さを学ぶことができました。 ・社会福祉法の改正を中心にとっても参考になる話が多かったです。また、特別区内や他の自治体の具体的な施策も多く解説してくださり、非常に勉強になりました。